

ビジネス科学研究科 企業法学専攻（博士前期課程）

共通専門科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01LA001	法文献学	1	1.0	1・2	春C	集中	BNK119	藤井 康子	重要な先行研究、法令、判例のリーサーチ方法の知識と技術は、法学を学ぶ上で不可欠である。本講義では、法令・判例・文献のリーサーチ方法およびリーサーチに必要な基本的な知識を正確に身に付けることができるよう、各ツールを比較・評価しながら例題を混ぜて講義する。	土曜日3-4時限。講義日変更の可能性あり。7/4, 7/11, 7/18, 7/25, 8/1 非常勤講師
01LA002	法文献学II	1	1.0	1・2	秋AB 夏季休業中	土2 集中	BNK119	藤井 康子	法文献学Iの応用編(法文献学Iを履修しておくことが望ましい)。法文献学Iで得たリーガル・リーサーチの知識と技術を定着させるため、国内外のリーサーチツールを使って実習し解説する。また修士論文作成を視野に入れたアウトプットのスキル(国内外の引用作法、参考文献・引用文献の読み方・書き方、プレゼンテーション技能)についても講義する。	土曜日2時限 10/3, 10/10, 10/17, 10/24, 11/7, 11/14, 12/5, 12/12, 9/5, 9/12 非常勤講師
01LA003	英米法I	1	1.0	1・2	夏季休業中	集中		會澤 恒	近時の合衆国連邦最高裁判所の判決の幾つかを素材として、そこで論じられ、あるいは背景にあるアメリカ法の基本的ないし特徴的な制度について基本的な知識を得るとともに、アメリカ法の最新の動向を把握する。	講義日変更の可能性あり。 9/14-9/18 非常勤講師
01LA004	英米法II	1	1.0	1・2	春B	集中	BNK431	高橋 脩一	アメリカにおける裁判所の役割について考察する。	土曜日5-6時限。演習または対話形式(授業形態は「講義」となっているが、システム上修正不可のため備考欄に記載する。)5/30, 6/6, 6/13, 6/20, 6/27 非常勤講師
01LA009	法と経済学	1	1.0	1・2	夏季休業中	集中		飯田 秀総	法と経済学の基本的な知識を獲得した上で、会社法を素材に法の経済分析の具体的な内容を理解する。	2F講義室8で実施 8/21, 8/22, 8/28, 8/29 非常勤講師
01LA011	企業法学特別研究I	4	1.0	1	通年	随時		企業法学専攻各教員	各専任教員が指導学生に対して、各人の関心に合わせた研究計画の立て方や、重点的な履修の内容・方法に対してアドバイス・指導を行う。	主専攻必修科目
01LA012	企業法学特別研究II	4	1.0	1	通年	随時		企業法学専攻各教員	各専任教員が指導学生に対して、研究企画の具体化や、そのための作業の進め方などについて指導を行う。	主専攻必修科目
01LA013	企業法学特別研究III	4	1.0	1	通年	随時		企業法学専攻各教員	各専任教員が指導学生に対して、修士論文の骨子の作成や、論文作成に向けての文献の調査・消化方法などについて、計画の進捗度合いに応じて指導を行う。	主専攻必修科目
01LA014	企業法学特別研究IV	4	1.0	2	通年	随時		企業法学専攻各教員	各専任教員が指導学生に対して、各人の研究計画に合わせた修士論文の草稿の作成や、中間報告会に向けた準備のための指導を行う。	主専攻必修科目
01LA015	企業法学特別研究V	4	1.0	2	通年	随時		企業法学専攻各教員	各専任教員が指導学生に対して、修士論文の草稿の完成および最終原稿の作成に向けての指導を行う。	主専攻必修科目
01LA016	企業法学特別研究VI	4	1.0	2	通年	随時		企業法学専攻各教員	各専任教員が指導学生に対して、修士論文の最終原稿の完成に向けて、表現や文献表記など最終段階としての指導を行う。	主専攻必修科目
01LA101	現代民法の基礎	1	1.0	1	秋A	火7,8	BNK119	小林 和子	民法全体を鳥瞰するが、特に民法総則を中心に現代民法の基礎を習得することを目的とし、必要に応じて物権法・債権法にも言及する。	
01LA102	親族法・相続法	1	1.0	1・2	通年	集中			高齢社会を迎えて重要性が増している成年後見法と相続法の基礎理論と現代的課題について検討する。	2015年度開講未定。
01LA103	現代商法の基礎	1	1.0	1・2	春A	金7,8	BNK119	木村 真生子	商法総則・会社法総則及び商取引法の重要な論点を取り上げ、商法の基礎を学習する。	
01LA104	損害賠償法	1	1.0	1・2	秋B	火7,8	BNK117	小林 和子	不法行為法を中心として損害賠償法を概観する。	西暦奇数年年度開講。
01LA111	企業法学特殊講義I	1	1.0	1・2	通年	集中			法令遵守をめぐる諸問題について企業の実務家が講義し、受講者と議論する。	
01LA112	企業法学特殊講義II	1	1.0	1・2	通年	集中			法令遵守をめぐる諸問題について企業の実務家が講義し、受講者と議論する。	
01LA113	企業法学特殊講義III	1	1.0	1・2	通年	集中			法令遵守をめぐる諸問題について企業の実務家が講義し、受講者と議論する。	
01LA114	企業法学特殊講義IV	1	1.0	1・2	通年	集中			法令遵守をめぐる諸問題について企業の実務家が講義し、受講者と議論する。	
01LA115	企業法学特殊講義V	1	1.0	1・2	通年	集中			法令遵守をめぐる諸問題について企業の実務家が講義し、受講者と議論する。	
01LA116	企業法学特殊講義VI		1.0	1・2	通年	集中			企業法における実務上の重要課題を取り上げて講義する。	詳細後日周知
01LA121	企業法学実務講義I	1	1.0	1・2	通年	集中			企業法における実務上の重要課題を取り上げて講義する。	
01LA122	企業法学実務講義II	1	1.0	1・2	通年	集中			企業法における実務上の重要課題を取り上げて講義する。	
01LA123	企業法学実務講義III	1	1.0	1・2	通年	集中			企業法における実務上の重要課題を取り上げて講義する。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01LA124	企業法学実務講義Ⅳ	1	1.0	1・2	通年	集中			企業法における実務上の重要課題を取り上げて講義する。	
01LA125	企業法学実務講義Ⅴ	1	1.0	1・2	通年	集中			企業法における実務上の重要課題を取り上げて講義する。	
01LA132	社会保障法演習	2	1.0	1・2	春A	水7,8	BNK436	渡邊 絹子	社会保障法の主要なテーマについて判例研究等を行う。	
01LA135	租税法演習	2	1.0	2	春C	水8 土6	BNK117	大野 雅人	租税法の重要な論点についての判例研究、事例研究等を行う。	
01LA136	金融商品取引法演習	2	1.0	1・2	秋B	金7,8	BNK436	木村 真生子	金融商品取引法の分野における最近のトピックについて、判例研究や文献購読などの方法により演習を行う。	
01LA137	経済法演習	2	1.0	1・2	秋BC	水8	BNK436	山田 務	経済法の分野における主要な審判決について、担当者による報告に基づいて参加者全員により議論する。	
01LA138	担保法演習	2	1.0	1・2	秋C	土6,7	BNK436	岡本 裕樹	担保法の分野における最近のトピックについて、ケーススタディや文献購読などの方法により演習を行う。	
01LA139	知的財産法判例演習	2	1.0	1・2	通年	応談	BNK436	平嶋 竜太	知的財産法(主として特許法、著作権法等)の分野における最近のトピックについて、ケーススタディや文献購読などの方法により演習を行う。	
01LA140	国際私法演習	2	1.0	1・2	秋C	火7,8	BNK436	藤澤 尚江	国際企業法(主として国際私法・国際金融法等)の分野における最近のトピックについて、ケーススタディや文献購読などの方法により演習を行う。	
01LA141	労働法演習Ⅰ	2	1.0	1・2	秋AB	木8	BNK117	川田 琢之	労働法に関する実務上重要な問題・課題について、事例を用いた討論を行う。	西暦奇数年度開講。
01LA142	労働法演習Ⅱ	2	1.0	1・2					労働法に関する実務上重要な問題・課題について、事例を用いた討論を行う。	西暦偶数年度開講。
01LA143	知的財産法演習	2	1.0	1・2	秋AB	土4	BNK436	潮海 久雄	知的財産法のいくつかのテーマについて演習を行う。	受講者は特に制限はないが、裁判例・文献を読んでもらうこと。
01LA146	契約法・損害賠償法演習	2	1.0	1・2	春C	火7,8	BNK436	小林 和子	判例研究を行う。受講者が関心を有している契約法・損害賠償法関連の判決について、報告担当者による報告と参加者全員による議論という形式で演習をすすめる。	
01LA149	アメリカ取引法文献購読	2	1.0	2	通年	応談		木村 真生子	主にアメリカ取引法についての基本的な英語文献を講読する。	不定期開講
01LA150	会社法特殊講義Ⅰ	2	1.0	1・2					会社法改正要綱に取り上げた改正点について、批判的に検討を加える。本科目は、基本的には参加者が報告を分担する演習科目である。	2015年度開講せず。 不定期開講
01LA151	民事手続法演習Ⅰ	2	1.0	1・2	春C	木7,8	BNK436	大淵 真喜子	民事手続法分野における重要な問題について、判例研究ないし外国文献購読などの方法により演習を行う。年度によって取り上げる法分野が異なることがある。	西暦奇数年度開講。
01LA152	民事手続法演習Ⅱ	2	1.0	1・2					民事手続法分野における重要な問題について、判例研究ないし外国文献購読などの方法により演習を行う。年度によって取り上げる法分野が異なることがある。	西暦偶数年度開講。
01LA153	金融法実務(イスラム金融)	1	1.0	1・2	春B	木7,8	BNK320	上山 一	中東・北アフリカ地域における金融ビジネス(イスラム金融ビジネスを含む)と法との関係について解説・議論する。	
01LA154	個人情報保護法	1	1.0	1・2	通年	集中			わが国の個人情報保護法制の全体像を国際比較の中で位置づけ、公的部門・民間部門における法制を概観し、現在問題となっている重要な論点(法改正、解釈上及び実務上の論点)を、実務と理論を架橋するという観点から取り上げる。	2015年度開講未定。
01LA155	租税計画演習	2	1.0	2	春AB	土6	BNK431	本田 光宏	租税計画を学ぶ上で最近の重要判例、文献等について、演習形式で学習する。	

専門科目【企業関係法コース】

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01LA201	契約法Ⅰ	1	1.0	1	春A	火7,8	BNK119	小林 和子	契約法全体についての基礎的知識の修得を目指す。契約総則(契約の基礎理論、契約の成立・効力、解除など)及び契約各則(売買、贈与、消費貸借、使用貸借、賃貸借、雇用、請負、委任など)につき、条文・判例を中心とした講義を行う。	
01LA202	契約法Ⅱ	1	1.0	1	春B	火7,8	BNK119	小林 和子	契約法に関する理論的・応用的問題を扱う。契約法にかかわる最新判例や最近の理論動向について、比較的考察も交えて検討を行う。	
01LA203	消費者取引と法	1	1.0	1・2					消費者・事業者間取引に対する特別民事ルールや業法的規制について、最新の判決や相談例を素材とした講義を行う。	西暦偶数年度開講。
01LA204	不動産法	1	2.0	1・2	秋AB	土6,7	BNK117	岡本 裕樹	企業にとって重要な、不動産物権の種類と内容・登記制度・不動産の賃貸借・地上権取引・土地や住宅の共同所有における法律関係や管理制度などについて検討する。	
01LA205	担保法Ⅰ	1	2.0	1・2	通年	集中			本講義では不動産担保を扱う。まず、担保物権の女王ともいえる抵当権に関する諸問題について判例を中心に検討を加える。次に、これとの比較という観点から、仮登記担保、譲渡担保という非典型担保について検討し、法定担保物権にも言及したい。	西暦偶数年度開講

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01LA206	担保法I	1	1.0	1・2	通年	集中	BNK117		企業取引では、不動産担保のほかにもこれを補完する担保が必要となる場合もある。そこで本講義では、不動産担保以外の担保、すなわち、動産担保(動産譲渡担保、動産先取特権など)や、権利担保(債権質、債権譲渡担保など)を扱うことにする。	西暦偶数年度開講。
01LA207	債権保全・回収法	1	2.0	1・2	秋BC	木7,8	BNK119	岡本 裕樹	債権保全・回収の法的問題としては、実体法上の権利内容の問題と権利行使の際の手続上の問題があるが、本講義では前者に重点を置きながら、後者については実務上特に重要な問題に絞って検討を加えたい。	西暦奇数年度開講。
01LA208	信託法	1	1.0	1・2	通年	集中			信託法の理論と実務について2006年の新しい信託法に基づいて講ずる。信託制度の本質を究明したうえで、現代における信託の役割について論じてみたい。	2015年度開講未定。 非常勤講師
01LA209	M&A法	1	1.0	1・2					近年、わが国においても企業の組織再編(M&A)が増加してきた。また、最近では敵対的企業買収も発生している。本講義では、こうした状況にみられる法的課題について、米国等の法状況と比較しながら、検討を行う。	西暦偶数年度開講。
01LA210	会社法	1	2.0	1・2	春BC	金7,8	BNK119	木村 真生子	会社法の全体像を概観する。重要な論点については、関係判例や学説を取り上げて検討を行う。	
01LA211	コーポレートガバナンス	1	1.0	1・2					上場会社等の公開会社を中心とした株式会社についての法制度に関して、近年において生じてきている重要な問題点を取り上げ検討を加える。判例や学説の考察に加えて、比較法的な面からの研究も検討したい。	西暦偶数年度開講。
01LA215	企業会計法	1	1.0	1・2	秋A	木7,8	BNK119	弥永 真生	企業会計に関する会社法・金融商品取引法における法規制を概観する。連結財務諸表、デリバティブ取引なども対象とする。	
01LA217	金融商品取引法	1	1.0	1・2	秋A	金7,8	BNK119	木村 真生子	資本市場に関わる様々な諸制度や関係者の行為を規律する金融商品取引法の基本的な概念を学ぶ。重要な論点については、関係判例や学説を取り上げて検討を行う。	
01LA218	金融法	1	1.0	1・2					預金、貸付、為替の銀行の3大業務を中心に銀行取引の法的側面につき約款に即して検討するとともに、関係判例についての研究を行うことにより、生きた民・商法、手形法・小切手法等を学習する。	西暦偶数年度開講。
01LA219	保険法	1	1.0	1・2	春C 夏季休業中	火7 集中	BNK320	遠山 優治、嶋寺 基	企業危険の分散のために保険は欠かせないツールである。損害保険法及び生命保険法の基本概念を理解し、企業経営のための保険利用において、不可欠な法知識を習得する。	西暦奇数年度開講。 詳細後日周知 前半5コマ(春火7限)、後半5コマ(夏季休業中・詳細未定)
01LA223	民事訴訟法	1	2.0	1・2	春AB	土4,5	BNK119	大淵 真喜子	民事訴訟法の基礎理論・手続内容について概説するとともに、基本的な重要問題についても解説する。	
01LA224	上級民事訴訟法	1	1.0	1・2					民事訴訟法における主要な理論的問題を選び出し、文献や判例等を踏まえて、より掘り下げた検討を行う。	西暦偶数年度開講。
01LA225	民事執行・民事保全法	1	1.0	1・2					民事執行・保全法について、手続の概要を講義するほか、重要問題について解説する。	西暦偶数年度開講。
01LA226	倒産処理法	1	2.0	1・2	秋AB	金7,8	BNK117	大淵 真喜子	破産法及び民事再生法について、基礎理論について概説するとともに重要問題の検討を行う。	西暦奇数年度開講。
01LA227	商事法研究I	1	1.0	1・2					主として、最近の商事判例について、参加者が報告し、参加者が討論を行うが、企業法学演習に比べて高度なものを予定しており、時間を十分にとるため、原則として、日曜日または休日に研究会を開催する予定である。したがって、準備には相当の時間を要する。企業科学専攻の学生も歓迎する。会社法その他商事法に関する基礎知識を有していることを前提として、進める。	西暦偶数年度開講。
01LA228	商事法研究II	1	1.0	1・2	通年	応談	BNK320	弥永 真生、徳本 穰、木村 真生子	主として、最近の商事判例について、参加者が報告し、参加者が討論を行うが、企業法学演習に比べて高度なものを予定しており、時間を十分にとるため、したがって、準備には相当の時間を要する。企業科学専攻の学生も歓迎する。会社法その他商事法に関する基礎知識を有していることを前提として、進める。 詳細についてはシラバス参照。	西暦奇数年度開講。
01LA231	コーポレート・ファイナンス	1	1.0	1・2	春A	木7,8	BNK119	弥永 真生	コーポレート・ファイナンスをめぐる法律問題を取り上げる。	西暦奇数年度開講。
01LA232	支払決済法	1	1.0	1・2	秋C	木7,8	BNK117	弥永 真生	手形・小切手、クレジット・カード、電子マネー、デビット・カードなどに関する法律問題を取り上げる。	西暦奇数年度開講。
01LA241	消費税法	1	1.0	1・2	春AB	土4	BNK320	山寺 尚雄	基幹税目の一つである消費税について、その特徴、日本における導入の経緯、今日的意義、消費税法の基本構造を理解し、さらには、経済取引に与える影響を考察する。	非常勤講師

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01LA242	アメリカ税法		1	1.0	1・2	秋AB	火8	BNK320 八田 陽子	米国税法の基本的理解・知識を得ることを目的として、法体系および法人税、所得税の基本概念について講義を行うことを中心とするが、実務的側面についても適宜触れる予定である。講義は履修者の米国税務に関する理解度を念頭に置いて講義を進める予定であるが、理解度に幅があるときには基本的に米国税務の知識がないことを前提として進める予定である。	非常勤講師
01LA243	中国税法		1	1.0	1・2	秋AB	土4	BNK117 築瀬 正人	中国の各種税金概要及び税制度の特徴に対する基本的知識を得ると共に、日本企業(外国企業)の現地子会社と日本(外国)親会社間の取引における課税関係及び税務問題に関して、租税条約の解釈及び事例に基づき、現地における税務行政状況及び税務対応を理解する。	非常勤講師

専門科目【国際ビジネス法コース】

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01LA301	国際私法		1	2.0	1・2	春AB	火7,8	BNK320 藤澤 尚江	国際私法は、国際的な法律関係において生じる異なる法律の抵触という問題に解決を与えようとするものである。この講義では、国際私法の制度と、特に取引法におけるその実現について概説する。	01DH382と同一。
01LA302	国際取引法		1	2.0	1・2	春AB	金7,8	BNK117 大塚 章男	企業活動のグローバル化を背景として、国際取引の諸相とダイナミズムを法的側面から探りつつ、現代の国際取引法の基礎理論を学び、その応用としての現実の国際取引の多様な形態を検討する。	
01LA303	国際経済法		1	1.0	1・2				戦後の国際貿易体制の軸となったGATTとそれを承継したWTOの法と制度を中心に講義する。GATT/WTOの紛争処理手続の下で扱われた事例を検討していく。	西暦偶数年度開講。
01LA304	国際金融法		1	1.0	1・2	秋B	火7,8	BNK117 藤澤 尚江	国際的な金融取引は、複雑な仕組みを有するものが少なくないが、その故に問題が起こった場合の処理に疑問があるものも少なくない。この講義では、ユーロ預金取引や国際的な証券決済といった具体例を例に引きつつ、現在実質的に国境なく行われている取引に各国の法律を適用することの難しさや妥当性を考える。	
01LA306	外国競争法		1	1.0	1・2	秋AB	土5	BNK117 山田 務	アメリカ反トラスト法、EU競争法等について、その規制の基本原則を理解し、具体的な判例やガイドラインを参照しながら、現代におけるその運用の在り方を学ぶ。	
01LA307	ヨーロッパ契約法		1	1.0	1・2	秋C	火7,8	BNK117 小林 和子	契約法に関するヨーロッパにおける国際的統一の動きやヨーロッパ各国の動向について検討する。	西暦奇数年度開講。
01LA308	国際民事訴訟法		1	1.0	1・2	秋A	火7,8	BNK117 藤澤 尚江	国際取引に関する訴訟法上の問題、特に国際裁判管轄、外国判決の承認等について学ぶ。	

専門科目【知的財産法コース】

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01LA401	著作権法I		1	2.0	1・2	春AB	土4,5	BNK117 潮海 久雄	情報化時代において著作権法の知識が必要となっている。知的財産法(特許法、著作権法、商標法、不正競争防止法ほか)のうち創作法分野に属する著作権法の基本的な考え方を身につけることを目的とする。	著作権法が収録されている六法を持参すること。受講対象者は、特に知的財産法を研究分野とする者に限らず、広く他の法分野専攻者も対象とする。西暦奇数年度開講。
01LA402	著作権法II		1	2.0	1・2				著作権法の全体についての基本的な理解と知識を獲得することを目的とした解説中心の講義を行う。至近の裁判例や学説についても適宜紹介・検討する。	西暦偶数年度開講。
01LA403	特許法I		1	2.0	1・2	春AB	木7,8	BNK117 平嶋 竜太	特許法についての基本的な枠組について概説すると共に、近時の判例や学説における議論についても、適宜紹介・解説する。(実用新案法についても併せて取り扱う。)	西暦奇数年度開講。
01LA404	特許法II		1	2.0	1・2				特許法、実用新案法についての基本的な枠組について概説すると共に、近時の判例や学説における議論についても、適宜紹介・解説する。	西暦偶数年度開講。
01LA405	不正競争防止法		1	1.0	1・2	秋B	木7,8	BNK431 平嶋 竜太	市場における競争秩序に関する規制法として近年益々重要性を増しつつある不正競争防止法は、標識的法的保護体系とそれ以外の法的保護体系(商品形態、営業秘密、その他)に大別される。ここでは、その全体構造について概観し、重要事項についての基本的な理解を得ることを目的とする。	
01LA406	商標法		1	1.0	1・2	秋AB	土5	BNK119 潮海 久雄	情報化時代において商標法の知識が必要となっている。知的財産法(特許法、著作権法、商標法、不正競争防止法ほか)のうち標識法の分野に属する商標法の基本的な考え方を身につけることを目的とする。	商標法が収録されている六法を持参すること。受講対象者は、特に知的財産法を研究分野とする者に限らず、広く他の法分野専攻者も対象とする。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01LA407	デザイン法	1	1.0	1・2	秋A	木7,8	BNK320	平嶋 竜太	日本におけるデザイン保護法制の主な柱である、意匠法及び不正競争防止法(商品形態の保護)を中心として解説・検討を行う。	
01LA408	知的財産侵害訴訟法	1	1.0	1・2	通年	集中			特許権、著作権はもとより知的財産権侵害訴訟に関わる諸問題につき、幅広く対象として判例や立法の動向も踏まえて概観する。また、理論面のみならず、実務的な問題認識にも配慮する。	2015年度開講未定。
01LA409	知的財産法特殊講義	1	1.0	1・2	通年	集中			知的財産法を巡る幅広いテーマを中心に取り上げて検討する。また、必ずしも知的財産法に限ることなく、関連する各分野の第一線で活躍する実務家や研究者を講師として招聘する場合も含まれる。	2015年度開講未定。
01LA410	国際知的財産法	1	1.0	1・2	秋AB	水7	BNK431	潮海 久雄	情報化時代において知的財産法の国際的側面について知識が必要となっている。知的財産法の条約、協定および、国際私法の側面(管轄、準拠法等)を含めて国際的に生じている問題について討論し、その基本的な考え方を身につけることを目的とする。	受講対象者は、特に知的財産法を研究分野とする者に限らず、広く他の法分野専攻者も対象とする。
01LA411	エンタテインメント法	1	1.0	1・2	通年	集中			小説、映画、音楽、ゲーム、ソーシャルメディア、スポーツといったエンタテインメント・ビジネスにおける法と契約について扱う。	2015年度開講未定。 西暦奇数年開講。

専門科目【社会経済法コース】

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01LA507	労働判例研究I	1	1.0	1・2					労働・社会保障事件における判例の事実、判旨の大意の把握及び当該判例の先例との関係、学説上の理論的位置づけ等を討論形式で検討する。	西暦偶数年開講。
01LA508	労働判例研究II	1	1.0	1・2	通年	応談	BNK337	川田 琢之	労働判例研究Iに引き続いて、判例の読み方や理論的位置づけなどを討論形式で学び、判例評釈の方法についても検討する。	西暦奇数年開講。
01LA509	独占禁止法I	1	2.0	1・2	春AB	土6,7	BNK117	山田 務	独占禁止法は、市場経済における競争秩序を維持する法制として重要な地位を占めている。審決・判例等を参照しながら、また、公取委のガイドラインにもふれながら、重点的にポイントを講述する。	01DH352の一部と共通。
01LA510	独占禁止法II	1	1.0	1・2	春C	木7,8	BNK117	山田 務	独占禁止法の公的施行・私的施行について学ぶほか、知的財産権・政府規制・国際取引と競争法との関係について考える。	01DH352の一部と共通。
01LA511	環境法	1	1.0	1・2	秋AB	木8			本授業は、環境問題の発生・展開に対応して環境法がどのように展開してきたか、環境法がどのような特質を持っているか等の環境法の基礎的共通事項について理解した上で、主要な分野の環境法の現状と課題・動向等について理解しようとするものである。	西暦奇数年開講。
01LA512	労働関係法	1	3.0	1・2	春ABC	火7,8	BNK117	川田 琢之	労働契約法、労働基準法、労働組合法等によって構成される労働法の基本的な内容について講義する。	01DH368と同一。
01LA513	社会保障法	1	3.0	1・2	秋ABC	水7,8	BNK117	渡邊 絹子	年金、医療、介護等の社会保障各制度の基本的な仕組み・内容及び法理論上の諸問題について学ぶ。	
01LA514	企業の組織・活動と労働法	1	1.0	1・2	秋AB	木7	BNK117	川田 琢之	企業(主として会社)の組織運営に関する労働法上の問題及び、労働法に関して企業活動上の法令遵守が問われる代表的な問題のなかからいくつかを取り上げて講義する。	
01LA515	社会保障法の現代的課題	1	1.0	1・2	春BC	水7	BNK117	渡邊 絹子	社会保障に関する現代的課題について検討する。	

専門科目【税法コース】

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01LA221	実務租税法	1	3.0	1・2	通年	水7	BNK119	本田 光宏	実務上の観点から、企業にとって重要な租税法の解釈・適用を体系的に論じる。春学期は、租税法の基本原則、解釈・適用の原則等、租税法総論の基本事項を論じて、秋学期は、法人税法の解釈上重要な論点を中心に講義する。また、近年の重要判決等の実務的な論点についても随時取り上げる。	01DH397と同一。
01LA233	租税法研究I	1	1.0	1・2					租税法上の重要な問題について、参加者の報告を基に討論を行う。企業関連税法全般(国際課税を含む)についての基礎知識を有していることを前提として、高度な内容を取り扱う。	西暦偶数年開講。
01LA234	租税法研究II	1	1.0	1・2	通年	応談		大野 雅人, 本田 光宏	租税法上の重要な問題について、参加者の報告を基に討論を行う。企業関連税法全般(国際課税を含む)についての基礎知識を有していることを前提として、高度な内容を取り扱う。	西暦奇数年開講。
01LA236	租税手続法	1	1.0	1・2	秋AB	土6	BNK119	大野 雅人	納税義務の成立、税額の確定・修正・決定・更正、各種加算税の賦課、税務調査の実施等に係る租税手続について、国税通則法の諸規定をベースに論じる。	
01LA237	租税争訟法	1	1.0	1・2	春AB	土6	BNK119	大野 雅人	違法な課税処分に対する行政上の救済措置(不服申立て)と司法上の救済措置(取消訴訟等)について論じる。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01LA238	租税計画I	1	1.0	1・2	春AB	土3	BNK119	本田 光宏	租税計画の観点から、実務上重要な論点について、個人の課税に係る事項を中心に論じる。	
01LA239	租税計画II	1	1.0	1・2					租税計画の観点から、実務上重要な論点について、法人の課税に係る事項を中心に論じる。	2015年度開講せず。
01LA240	相続税法	1	1.0	1・2	春AB	土5	BNK320	飯島 信幸	相続税法の基礎知識を習得するとともに、重要判例や最新の判例動向、相続税法を巡る最近の問題及び財産評価における実務上の重要課題等を把握する。	非常勤講師
01LA309	国際課税法I	1	1.0	1・2	春AB	水8	BNK119	大野 雅人	社会経済の国際化の中で重要性の高まっている国際税務に関し、我が国における国際課税制度について論じる。	
01LA310	国際課税法II	1	1.0	1・2	秋AB	土3	BNK119	本田 光宏	国際租税制度の法源の1つである租税条約に関して、趣旨・目的、基本原則、個々の条文の解釈・適用上の論点を中心に学習する。	

特定関連科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02FA603	フランス法	1	1.0	1 - 3	通年	集中			フランス法を概説する。	非常勤講師・開講未定
02FA604	ドイツ法	1	1.0	1 - 3					ドイツの民商法を中心として、ドイツ法の基礎的な法原理を概説する。また、企業法に関する重要な法律問題を重点的に論じる。	西暦奇数年度開講。 2015年度開講せず。 非常勤講師
02FA605	アジア法	1	1.0	1 - 3	通年	集中			中国法を中心とするアジア法について、とりわけビジネス法を主として概説する。	非常勤講師・開講未定